

## 【教育講演会に参加して】

学年研修委員会です。

12月2日(土)に浜松市PTA連絡協議会主催の講演会に学年研修委員2名が参加しました。今年度も昨年度と同様、ハイブリッド開催(ZOOMによるリモート参加、または会場での参加)でした。

参加した学年研修委員2名はリモート参加を選択、講演会の内容が子育てに大変興味深い内容で、1時間半の講演時間があったという間だったそうです。

機会があれば、私もぜひ講演を聞いてみたいと思いました。

### ●演題 【親がキレない子育てのすすめ】

### ●講師 【汐見 稔幸 氏】(東京大学名誉教授)

#### 【Aさんの感想】

育児を楽しめない、叱りすぎてしまう、という悩みを抱えている保護者は多いと思いますが、それは社会的な問題でもあるとわかりました。

- ①以前は、地域社会、近所で子育てを担っている部分があったこと。
- ②親がつきっきりでなくても、安心して遊べる場所、環境があったこと  
(車が今ほどない、地域の人が寛容)。
- ③年上が年下の面倒を見ることで、子供に自然と社会性が身につくようになっていたこと。

このような点から、保護者の負担が今ほど多くなかったことを学びました。車が増え、便利になり、プライバシーが確保されると共に、子供にとっては自由にできる環境が減ったと、講演を聞いて改めて感じました。

便利さを得ることで、子供を育てやすい環境を失ったと先生が仰っていました。それにより、子供の非認知能力を育てる場所や機会が減り、保護者がずっと見ていないといけない状況になってしまったのは、本当に残念です。

現在、保護者、特に母親に負担がかかる社会になってしまった背景を知り、このようなことが社会全体に周知されればよいなと思いました。

子供たちにとっても、ストレスが溜まったり、自分のやりたいことができなったりするのは、大きなマイナスになるように思います。

先生の「今のいい子は、親の言うことを聞く子」という言葉がグサッときました。もっと、子供と相談したり、意見を交わしたりして、子供がやりたいこと、したいことが叶う社会にしたいなと思いました。

## 【Oさんの感想】

子育てについて

昔と現代の違いを、聞いてはいましたが、今日具体的に知ることが出来ました。  
あーなるほど！

こんな時代だから、出生率が下がる一方なんだな、と納得してしまいました。  
子供が自己決定できる環境を、作っていきたいと思いました。

\*昔は、地域と共に担ってきた子育て…

遊びの中で、非認知的能力を養い、あたまを使う…

家庭では、アタッチメントをしっかりし、育児を機能的分業していた。

しかし、

便利な世の中になってくると、犠牲になるものが出てしまう。

それが…子供の遊び場で、現代の子育てをとりまく環境になっている。

- ・ 食事
- ・ 清潔、病気にしない
- ・ しつけ
- ・ 身体をしっかりつくる
- ・ 社会性
- ・ 家事

今まで、子育てを分業していたが、これらを母親が一人で担う。それは、それは、困難なこと！

結果…出生率が下がり、すぐにキレル母親も増える。

そうしない為には～

- ・ 子供にいろんな世界を見せ、選択肢を増やす
- ・ 子供に仕事をあたえる
- ・ 母親の経験交流をする場を作る

このように感じました。

